

成果の説明書

(氏名) 木下まゆみ	(学部) 経済学部
<p>1 重要事項</p> <p>◆研究</p> <p>(1) 集団討論に関して</p> <p>科学研究費助成金基盤研究(c)に採択された研究課題<「協同知」の形成における視線の役割——集団討論での聞き手の同期性に注目して>を遂行。複数のグループディスカッションを比較し、発言の流動性と身体動作の関連が、議論の質に影響する可能性、および動作生成の個人差を検討。その成果を International Congress of Psychology (ICP2020) に発表申請し、承認を受けた(新型肺炎の感染防止の観点により、2021年に学会開催が延期)</p> <p>(2) 思考スタイルについて</p> <p>心理学および医学、哲学領域を対象に、文献収集を実施、講読。システム1、システム2やその類似概念に分類される思考スタイルについて、その独立性とスペクトラム的性質の議論を整理した。また、これまで不合理な位置づけをなされてきたシステム1に関する適応性を提案する動向を確認した。</p> <p>◆セミナーへの参加</p> <p>11/2 日本行動計量学会「関数データ分析」セミナー 9/10～9/12 第9回会話分析初級者セミナー 2/27 情報機構「臨床疫学研究における傾向スコア分析の使い方」セミナー</p> <p>◆授業以外の教育への取り組み</p> <p>教職実践演習の受講者を対象にワークショップを開催。インプロ・ジャパンより講師を招聘、即興劇を中心としたワークを実施した。</p> <p>◆社会活動</p> <p>日本パーソナリティ心理学会理事、日本パーソナリティ心理学会常任編集委員</p>	
<p>2 その他の事項</p> <p>高崎経済大学教員免許状更新講習にて、「教育の最新事情」を担当。 群馬県教員育成協議会委員委員、高崎健康福祉大学学校評議員。</p>	
<p>3 次年度以降の計画・抱負</p> <p>(1) 集団討論に関して</p> <p>科研費研究課題の遂行。グループディスカッションのデータ収集を行い、動画の分析を行う。特に、動作計測ソフトを使用し、時系列データを収集、その分析についての検討を中心的に進める。</p> <p>(2) 思考スタイルについて</p> <p>従来の認知的視点に加え、神経科学的研究の論文収集、整理を行う。それらの知見をふまえ、2つのシステムのスペクトラム的性質と適応性との関連について考察する。</p>	